

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
金沢工業大学

金沢工大学園 同窓会報

月見光路プロジェクト

情熱注ぐ、課外活動。
学生がプロジェクトで成長

白山キャンパスを開設
新たな教育・研究の拠点へ

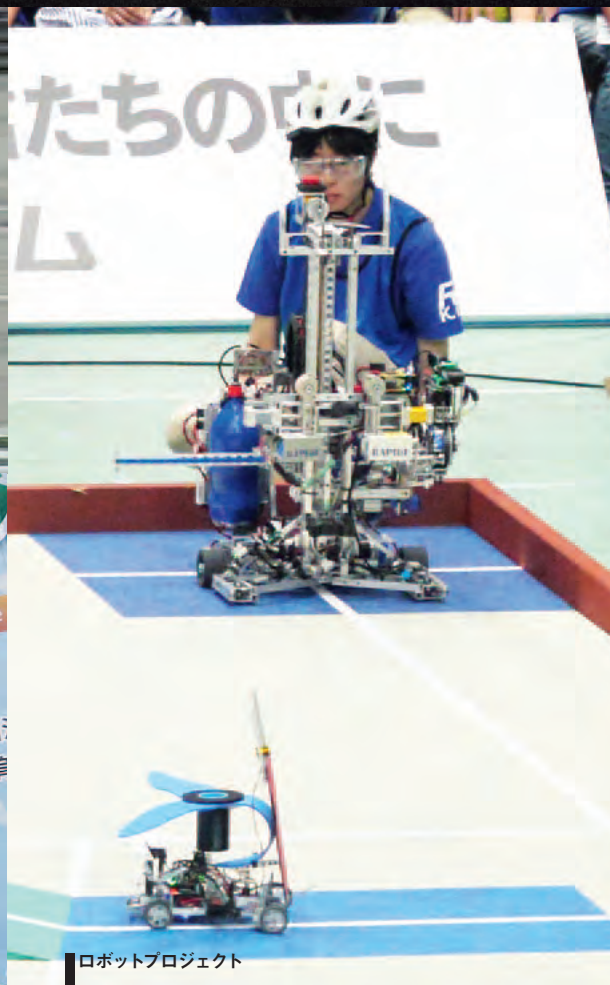
第16回こぶし祭
みんなに愛されるイベント



フォーミュラカープロジェクト



エコランプロジェクト



ロボットプロジェクト

学生が主体的に取り組む

情熱注ぐ、 課外活動。

金沢工大学園では、
意欲を持って課外活動に自主的に取り組むことで、
学生が着実に成長を遂げています。
産学・地域連携教育研究プロジェクトと
夢考房プロジェクトに分けて、
その活動の一端をご紹介します。

i 本号から課外活動を詳しく取り上げる連載がスタートしました。

産学・地域連携 教育研究プロジェクト

「教育」「研究」「地域貢献活動」が大学教育の使命であり、学生、教職員、地域住民、企業の方々が一緒に「学び」「気づき」「行動」することで、地域や産業界の課題解決に取り組みます。

金沢の夜を光のオブジェで
照らし出して賑わい創出を

月見光路プロジェクト

2004年にスタートし、毎年10月に実施されています。広坂商店街とその周辺の地域住民と連携し、金沢市の中心市街地を活性化しようと、あかりオブジェで都市空間を演出するプロジェクトです。建築系の学生があかりオブジェを制作し、情報系の学生がIT技術を駆使した仕掛けを考え、電気系の学生が電源制御を担当するなど、学科を横断した約100人の学生が参加しています。07年度に北陸建築文化賞、09年にグッドデザイン賞、13年に金沢市文化活動賞を受賞しています。

イベントは年々趣向を変えており、最近では夜間だけでなく、波形の大型遊具や飲食・カフェスペースを設けるなど昼間の演出にも力を入れています。2016年は「つなげる」をテーマに、花を制作するワークショップを行い、来場者につくった花を植えてもらうことで参加型イベントに発展させています。また、スマートフォンを活用したラリー企画も実施しました。プロジェクトの一員の池ヶ谷祐輔さん（大学院・建築学専攻1年）は「毎年、先輩たちを超えたいと頑張っています。終わったときの達成感は大きいですね」と笑顔を見せます。



訪れる人たちの創造を超えるデザインを生み出すために学生は試行錯誤を繰り返しています



光が織り成す彩りの美しさもイベントの盛り上げに役買っています



今年は来場者が花をつくり、会場がその花で満開となりました

産学・地域連携教育研究プロジェクト一覧

- ゲーム制作プロジェクト
- クラウドサービス開発プロジェクト
- CirKit プロジェクト
- 月見光路プロジェクト
- タテマチアートプロジェクト
- KIESプロジェクト
- 地理空間情報プロジェクト
- マーケティング調査による商店活性化プロジェクト
- Toiro (Total instruction program re-organizing multiple subjects)
- 核型分析を用いた地域住民と本学学生のヒトゲノム・生命科学教育システム
- 夢考房 Junior
- 金沢マラソン「おもてなし」プロジェクト
- 小学生と英語を学ぶKITサイエンス・プロジェクト
- Bus Stop～市民サポートは僕に任せて～
- Project One To Six!～地域社会の人材育成&農業イノベーション～
- こどもの成長を見守る「おもちゃ」開発プロジェクト
- 農業支援機器開発プロジェクト
- 「ねばープロジェクト」バイオ産業への納豆菌の応用
- 「匠の技」を科学する
- 熱・流体解析を中心としたCAEプロジェクト
- IT利用デザイン協創プロジェクト

高峰譲吉氏の功績を知り
発酵産業の伸展に役立てる

未来の高峰譲吉博士は君だ！ 発酵産業活性化プロジェクト

郷土の偉人である高峰譲吉博士は日本のバイオテクノロジーの先駆者です。高峰博士の功績に光を当てるとともに、地場産業の一つである発酵産業について理解を深めるのが、このプロジェクトの目的です。情報工学科と応用バイオ学科の学生 27 人が参加しており、週 1 回活動しています。

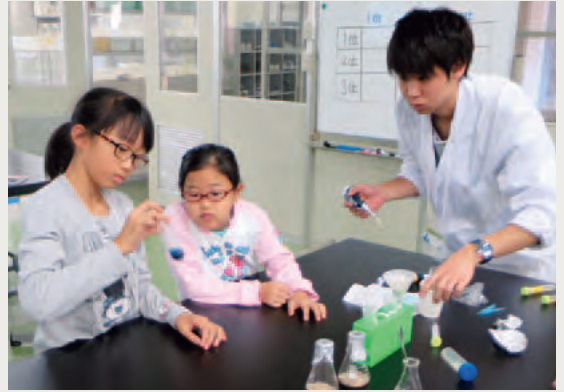
活動としては、2015 年に小学生を招いた「金沢大野醤油マッピングイベント」を実施しています。学生が講師となって醤油の製造工程を説明した後、麴仕込みを体験

したほか、醤油についてのクイズに答えるオリエンテーリングを行いました。16 年は金沢市立高尾台中学校で実験教室を開き、高峰博士が麹菌から開発した消化酵素タカジアスターゼの効能や、甘酒が甘くなる仕組みを実験で教えました。

プロジェクトで活躍する川谷内里帆さん（応用バイオ学科 3 年）は「私たちは麹菌をはじめとしたさまざまな菌の恩恵を受けています。そのことを多くの人たちに知ってほしい」と目を輝かせます。



学生が発酵について学ぶ場にもなっています



児童に発酵の仕組みについて教えています



在日外国人が住みやすい
まちづくりにソフト面で貢献

Design for the Community



野々市市との地域連携教育研究プロジェクトで、金沢工大の学生 8 人と金沢高専の学生 2 人が参加しています。現在、野々市市には約 400 人の外国人が住んでいて、言葉が通じないことによるトラブルが少なくありません。そこで、外国人に英語でインタビューを実施し、問題発見から解決までのプロセスを通じて地域との関わり合いを深め、英語でのコミュニケーション能力の向上を図っています。

外国人との問題解決方法として

取り組んでいるのが、野々市市が発行するパンフレットの英語版の作成です。2013 年にはごみの出し方、14 年はコミュニティーバス「のっティ」の利用方法とスポーツガイド、15 年は子供の健康手帳を翻訳。16 年は病院で医師と意思疎通ができるアプリを制作し、活動の幅が広がっています。プロジェクトメンバーの能美龍星さん（経営情報学科 3 年）は「英語を学べるだけでなく、地域の役に立っているという実感があります」と話しています。



上／野々市市に住んでいる外国人の方にヒアリングします

下／外国人の方がどのようなことに悩んでいるのかをまとめています

- 未来の高峰譲吉博士は君だ！発酵産業活性化プロジェクト
- 北陸スマートアグリプロジェクト
- 街の達人発掘・発展学習プロジェクト
- 地域特産物を活用した機能性食品開発プロジェクト
～ヤーこんなに健康に～
- コンテンツデザインに関する科学的設計基盤を用いた地域印刷業の活性化支援

- 工学でまちの楽しさを創る！伝える！～エリア巡回型地域活性化活動の試み～
- RDA プロジェクト
- smart city プロジェクト
- スマートフォンアプリプロジェクト
- 情報セキュリティ・スキルアッププロジェクト
- マーケティング・テクノロジーによる野々市市の投票率向上プロジェクト

- Machine Tools Enthusiast (MaTE) プロジェクト
- ポジティブ心理学を活用した地域におけるメンタルヘルスのボランティアの育成
- 循環型エネルギー地域活用プロジェクト
- Design for the Community
- 数理の広場プロジェクト

※ 平成 28 年 6 月現在

夢考房プロジェクト

夢考房は、金沢工大学園が1993年に設立した学生のための自由なものづくり環境で、現在、16プロジェクトが活動中です。学科、学年の垣根を越えたチーム活動は、授業では得られない感動を味わうことができます。

小型無人飛行機プロジェクト



メインの活動として、小型ラジコン飛行機の製作を行っています。アメリカで開

催される SAE Aero Design West の出場を目標とする SAE チームと、全日本学生室内飛行ロボットコンテストでの優勝が目標の飛行ロボコンチームの2チームで活動しています。2016年は第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト自動操縦部門で初優勝を果たしました。

人力飛行機プロジェクト

「鳥人間コンテスト」への出場を目指し、人の力のみを動力とした人力飛行機的设计・製作・性能評価を行っています。人力飛行機は全長約30m、重量約40kgの巨大かつ軽量の製作物です。2013年から尾翼が前方にある先尾翼機の製作に取り組んでおり、20kmの長距離飛行をめざして日々研究を重ねています。



ソーラーカープロジェクト



ソーラーカーは、光エネルギーを電気エネルギーに変換する太陽電池を搭載した電気自動車です。エネルギーを有効活用するとともに、安全に安定した走行を可能にする最先端のレース車両の設計から製作までをチームで取り組んでおり、シャーシとボディ、電装品などもほとんど自分たちで製作しています。

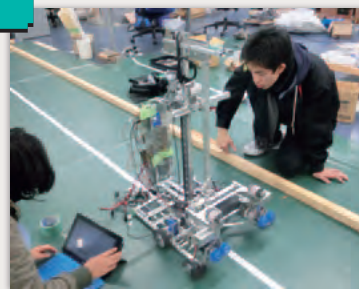
義手研究開発プロジェクト

身体に障害のある人の自立やリハビリの継続を技術的に支援する機器・装置の開発を目的に発足し、現在は義手の一種である「筋電義手」の製作に取り組んでいます。筋電義手は、筋肉から発生した微弱な電気信号を利用して動く義手であり、指でものを握る・つまむ動作に加え、挟む動作の開発も目指しています。



ロボットプロジェクト

Team_Robocon と Team_RID に分かれて活動しています。Team_Robocon は「NHK 学生ロボコン」に向けてオリジナルロボットの設計・製作を行うチームであり、2013年には「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト ベトナム・ダナン」で初優勝し、ロボコン世界一となりました。Team_RID は人と共存する動物型ロボットの設計・製作に取り組んでいます。



ロボカッププロジェクト



自律歩行型二足歩行ロボットの設計・製作に取り組み、RoboCup ヒューマノイド・キッドサイズリーグに出場しています。Robo Cup

Japan Open 2015 はテクニカルチャレンジで1位となり、「日本ロボット学会賞」を受賞しました。また、Robo Cup Japan Open 2016 には歩行安定性を向上させた新型機で出場し、競技3位、テクニカルチャレンジ1位でした。

フォーミュラカープロジェクト

フォーミュラカーのマシンの企画・デザイン・設計・製作からテスト走行・解析・スポンサー活動まで、すべてを学生自身で行っています。フレーム班、サスペンション班、パワートレイン班、エアロダイナミクス班に分かれて活動。「全日本学生フォーミュラ大会」に参戦し優勝することを目標に、技術力・人間力の向上を目指しています。



メカニカルサポートプロジェクト



災害時において遠隔操作による要救助者の救助が可能なレスキューロボットの開発と、それを用いたレスキューシステムの実用化を目標としています。現在は、人が入れないような場所で要救助者を探す「探査型レスキューロボット」の製作・実験を行っています。2013年には「レスキューロボットコンテスト」でレスキュー工学大賞を受賞したほか、2016年には競基弘奨励賞を受賞するなど高い評価を受けています。

建築デザインプロジェクト

チーム活動による建築設計、模型製作を通じて、建築を学ぶ上で必要な「表現力」「プレゼンテーション能力」「デザイン能力」を身につけることを目指しています。設計コンペへの挑戦などを行う設計班と、実在する建築物や有名建築家が残した図面をもとに模型を製作する模型班があります。



人工衛星開発プロジェクト

金沢工大発の人工衛星を宇宙へ打ち上げ、運用を目指して活動を行っています。打ち上げ方法としては、JAXAの公募の選出や衛星設計コンテストで優秀作品に選出されるとアメリカ・ロシア・日本の大型衛星に自分たちで製作した衛星を搭載してもらい権利が得られる「JAXA 相乗り小型副衛星」制度の利用を検討しています。CanSat 製作・CanSat 競技への参加と衛星設計コンテストにチャレンジしています。



※CanSat とは、350ml 入りのジュース缶サイズの“模擬”人工衛星のことです。

組み込みソフトウェアプロジェクト



ロボットを動かすプログラムを可視化するための設計図の表現法やプログラミングを学習し、組み込みソフトウェアに関する知識やスキルの習得を目指しています。ET ソフトウェアデザインロボットコンテストに出場し、毎年、課されるコースを攻略するために戦略を立て、信頼性の高いソフトウェアの開発に取り組んでいます。

自律走行車プロジェクト

自身の位置やこれから走行する場所の状況、周囲の人や自転車、車がどのように移動しているかを把握し、目標とする地点まで安全に自律して走行できるロボット自動車の研究・開発を行っています。「つくばチャレンジ 2015」では、トライアルコースをほぼ完走し 380m の記録を残しています。



RoboCup@Home プロジェクト



2015年11月に活動を始めた新しいプロジェクトです。大学4年生や大学院生が所属している研究室と協力して活動している点が従来の夢考房プロジェクトとは異なります。子供や高齢者を対象とした生活支援ロボットの開発を行っており、技術力向上のためにロボカップ@ホームリーグに出場し、2016年の日本大会で優勝を果たしています。

研究室と協力して活動している点が従来の夢考房プロジェクトとは異なります。子供や高齢者を対象とした生活支援ロボットの開発を行っており、技術力向上のためにロボカップ@ホームリーグに出場し、2016年の日本大会で優勝を果たしています。

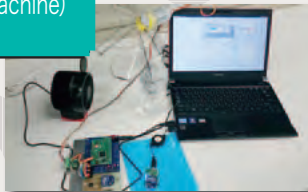
エコランプロジェクト

自動車の省エネ走行を追求するプロジェクトです。ガソリン 1ℓ での走行距離を競う「エンジンエコラン」と電気自動車の「EV エコラン」の 2 チームがあります。エンジンエコランでは「本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ」のグループⅢで 4 連覇、EV エコランでは「2015 World Eco Move」鉛蓄電池部門でグッドデザイン賞を受賞した実績があります。



M2M (Machine to Machine) プロジェクト

M2M とは、ネットワーク上で接続された機械同士が相互に情報を交換し、自動的に制御を行うシステムのことです。2015 年度は、発電電力と風向きデータをセンサによって計測する機器と、それをモニタリングするシステムを開発しました。2016 年度は、ソーラーパネルなどをネットワークに組み込むといったことにチャレンジしています。



ラーニングエクスプレスプロジェクト



このプロジェクトは、2013 年からグローバル人材の育成プログラムとして実施されています。東南アジア地域で、異文化・異分野の学生たちと協同し、現地の住民にヒアリングした上で問題発見・解決活動を行い、そこで導かれた解決策 (アイデア) の現地導入を目指して具現化に取り組んでいます。

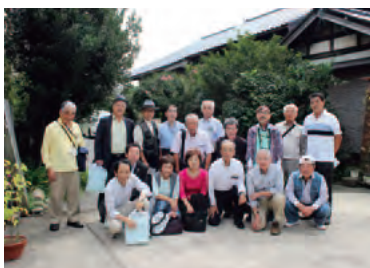
高専同窓会

寺町寺院群を巡る

第12回金沢歴史探訪



▲ 高橋住職の軽妙な説法に引き込まれました



▲ 金沢歴史探訪に参加した皆さん

第12回金沢歴史探訪が平成28年9月24日、金沢市の「にし茶屋街」近くに広がる寺町寺院群周辺で開かれ、会員ら18人が参加し、普段は知ることが少ない歴史的な寺院をゆっくりと見て回りました。

金沢歴史探訪の案内役は、観光ボランティアガイド「まいどさん」として長年活躍している本野政信さん（保二会・38年）が務めました。一行は、最初に安閑寺を訪れ、増泉という地名の由来となった湧き水や、奈良県の春日大社から植樹した春日杉を見学しました。続いて中村神社では、折り上げ格天井の見事さに目を見張りました。

荒廃していた寺院をよみがえらせたことで知られる宝勝寺では、高橋友峰

住職の説法に耳を傾けました。高橋住職は、超高齢社会の到来によって高齢者の面倒を見てくれる若者が足りない現状にあるとした上で「寝たきりにならないよう健康に気をつけるべきです」と話しました。

また、人生を心安らかで豊かに過ごす心構えとして、参加者に「一に掃除、二に笑顔、三四元気に、おかげさま」という言葉を贈りました。特に掃除では、トイレや玄関、風呂、台所などを徹底的に掃き清めることで、心のこだわりを取り除くことができるとしました。参加者からは「大通りから一本入った路地に興味深い寺院が多いとは知りませんでした」などの感想が聞かれ、爽りの多いイベントとなりました。

経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

利他の精神を大切に

第30回異業種交流会



▲ 松下電建の取り組みに耳を傾ける参加者

第30回異業種交流会は平成28年8月21日、金沢市のANAホリデイ・イン金沢スカイで12人が出席して開かれ、松下電建社長の松下泰文さん（52年）が「必要とされ、あてにされる企業をめざして64年」と題して講演しました。

松下さんは、ニュートリノの観測施設として有名な「スーパーカミオカンデ」の電気工事を担当した際の裏話を

披露し、建築分野への事業拡大に意欲を示しました。また、「周りのみんなが幸せなら自分も真の幸せを得られる」という自社の信条についても話し、利他の精神の大切さを訴えました。

質疑応答では後継者の育成について参加者とも議論するなど、予定時間を大幅に過ぎるほど盛り上がりました。

第31回異業種交流会

- 日時 平成29年1月22日(日)
受付10:00 開始10:30
- 場所 ANAホリデイ・イン金沢スカイ
- 会費 2,000円

(昼食込み、講演聴講のみは無料)

- 講師 金沢工業大学情報フロンティア学部
経営情報学科 齋藤正史教授
- 演題 「これまでの歩みとこれからの工大の学生に望むこと～ITの技術革新と社会の変革～」

- 申し込み：前日までに経工会ホームページ
参加フォームから申し込みか、こぶし会事務局
(076-294-6375) までご連絡ください。



▲ ゴルフコンペで優勝した粟島誠人さん(右)

第12回経工会ゴルフコンペ

平成28年9月11日
千里浜カントリークラブ
参加者数19人
優勝：粟島誠人さん(H7年)

穴水サンセットセッション

平成28年9月10、11日
穴水湾自然学苑、参加者45人

こぶし会

保二会 (ほじかい)

北陸電波学校 北陸電波専門学校
北陸電波高等学校 金沢工業大学附属高等学校

大学同窓会

高専同窓会

学科同窓会

機扇会 (きせんかい)

機械工学科 機械システム工学科
物質応用工学科 先端材料工学科
物質システム工学科 ロボティクス学科
航空システム工学科

琥陸会 (こぼくかい)

電気工学科
電子工学科
電気電子工学科
情報通信工学科
電子情報通信工学科

経工会 (けいこうかい)

経営工学科
経営情報工学科
情報マネジメント学科
情報経営学科
経営情報学科

ながつき会

土木工学科
環境土木工学科

積木会 (つみきかい)

建築学科
居住環境学科
建築都市デザイン学科
建築デザイン学科

扇翔会 (せんしょうかい)

情報処理工学科
情報工学科
メディア情報学科

平結会 (へいゆうかい)

人間情報工学科 環境システム工学科 バイオ化学科
環境化学科 生命情報学科 心理情報学科
応用バイオ学科 応用化学科

機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・
物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

石川名誉学長が講演

第2回機扇会交流会



石川名誉学長



▲ 交流会に参加した皆さん

第2回機扇会交流会が平成28年10月29日に金沢工業大学7号館で開かれ、46人が参加しました。

中田政之会長が機扇会の活動状況について報告した後、同年3月に学長を退任した石川憲一名誉学長が「金沢工業大学の歩みと教育改革」と題して講演しました。

石川名誉学長は、学力と人間力が身

に付いた「自ら考え行動する技術者」の育成にまい進してきた教育改革を振り返りながら、これまでの金沢工業大学の歩みを顧みました。参加者は石川名誉学長の話から工大スピリットを感じ取ったようで、卒業生としての誇りを新たにしました。

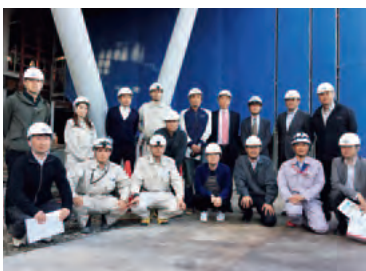
講演後に行われた懇親会では、山岸進さん(47年)の発声で乾杯し、参加者がそれぞれ親睦を深めました。今回の交流会は世代を越えて交流し、大いに盛り上がりました。

積木会

建築学科・居住環境学科・建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

キャンパス整備の現場へ

建築研修会



▲ 研修会に参加した皆さん

建築研修会が平成28年11月5日、金沢工業大学扇が丘キャンパスで開かれ、会員ら17人が新たに完成した駐輪場や、新夢考房41の建設途中の現場を見て回りました。

扇が丘キャンパスの整備には、多くの積木会会員が関わっており、今回は「卒業生が創るキャンパスを巡る」をテーマに、漆崎義和さん(H6年)、北

出淳一さん(58年)、棚木達郎さん(H15年)、泉雄三さん(H9年)らを講師に迎え、参加者は解説に耳を傾けました。

新夢考房41の正面はガラス張りで、鉄骨のV字型構造が目を引きます。棚木さんは「構造的にも意味がある合理的なデザインを目指しました」とし、泉さんは「建築主」「設計者」「施工者」のみんが良かったと評価されるように現場管理をしています」と話しました。

次回の研修会は2月に開催予定です。皆さまの参加をお待ちしています。

☐ ながつき会 土木工学科・環境土木工学科

片山津海岸などを見学

平成 28 年度研修会



▲片山津海岸の工事の進捗状況を確認しました



▲研修会に参加した皆さん

平成 28 年度研修会が 8 月 20 日に会員約 40 人らが参加して行われ、護岸の復旧工事が実施されていた片山津海岸と、南加賀道路で最先端の ICT（情報通信技術）を用いた土木工事の様子を見学しました。

一行はまず、加賀市新保町の片山津海岸を訪れ、140 m にわたって崩れた護岸の被災メカニズムなどについて説明を受けました。その上で、復旧工事では、短い工期を実現しながら、消波工のブロックを従来の 4t から 10t に強化した様子を確認しました。

続いて、北陸自動車道小松 IC から

加賀市東部の丘陵地を経て加賀 IC を結ぶ本線ルート 27.9 km と、本線ルートから分岐し、粟津方面にいたる粟津ルート 4.7 km からなる「南加賀道路」の工事現場に到着。

南加賀道路では、石川県のモデル事業として、加賀市細坪町から曾宇谷町間で建設生産システムの効率化・高度化による生産性向上を目的とした ICT を活用した工事が行われています。参加者は、ブルドーザーなどの重機が仕上がり面まで自動制御で運転でき、オペレーターの負担を軽減できる技術に興味津々。実際にブルドーザーに乗り込み、仕上がり面よりも先にショベルが進まないことを確認すると技術の素晴らしさに感心しきりでした。

☐ せんしょうかい 情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科

在学生と卒業生が近況を報告

学園祭ミーティング



▲将来について語った坂口さん



▲会社設立の経緯を話した村松さん

学園祭ミーティング（卒業生懇親会）は平成 28 年 10 月 29 日に金沢工業大学 23 号館 510 室で開催し、卒業生や在学生、教員ら 38 人が出席し、互いに親睦を深めました。

初めに、情報工学系主任の長田茂美教授と情報フロンティア系副主任の出原立子教授が、各学科の現状について話しました。

続いて坂口峻さん（メディア情報学科 2 年）が学生生活について話し、「将来は教員になることを夢見ています。ICT にも興味を持っており、人と人を“つなぐ”ことを考え、プロジェクト活

動やアルバイトなどに取り組んでいます」などと抱負を語りました。

今年は卒業生も招いて近況をうかがいました。村松俊臣さん（H22 年）は大手ソフトウェア会社を退職した後、大ヒットアプリの開発を夢見てアプリ開発会社「Beta Computing（株）」を立ち上げました。村松さんは「起業時には資金面で苦労しましたが、現在は順調です」と笑顔を見せていました。

学生や卒業生の実情を知ることができた今年の学園祭ミーティングは実り多いものとなり、最後に加原智彦会長が「来年も工大祭に合わせて学園祭ミーティングを行う予定ですので、皆さまの参加をお待ちしております」と挨拶し、閉会しました。

☐ へいゆうかい 人間情報工学科・環境システム工学科・バイオ化学科・環境化学科・生命情報学科・心理情報学科・応用バイオ学科・応用化学科

第 3 回総会を 10 月に開催

平成 23 年に発足した平結会も今年で 3 回目の総会を迎えます。3 年に 1 度の総会とはこぶし祭（工大祭併催）にあわせて 10 月に開催する予定です。懇親会も行いますので、懐かしい友人、知人に会いに来ませんか。ぜひご参加ください。

●お問い合わせ先……………こぶし会事務局 TEL.076-294-6375 FAX.076-294-0886

こぶし会の国際交流事業支援



留学の経験を 生かしたい！

学生が帰国報告会で成果を発表

金沢工業高等専門学校と金沢工業大学が実施する国際交流プログラムに対して、こぶし会では支援を行っています。このプログラムに参加した学生が帰国報告会で成果を発表し、「今後の学びの中で留学の経験を生かしたい」と抱負を語りました。



今回、帰国報告会が行われたのは、「泰日工科大学サマープログラム（タイ）」と「ラーニングエクスプレス（ベトナム）」の2つのプログラムです。

泰日工科大学サマープログラムでは、同世代のタイ人との交流の中で、言葉が通じなくても意思疎通ができることを学んだほか、日本とは違うタイの文化を吸収しました。また、現地の小学校を訪問し、竹とんぼや紙飛行機などの日本文化を紹介したことなどを報告しました。

ラーニングエクスプレスでは、ベトナムの祭りに欠かせないランタン

をシーズンオフでも売れるようにする改善策や、清掃で使用する茅ぼうきの巻き締め機の開発に取り組んだ活動について発表しました。また、前回、プログラムに参加した学生が、帰国後も鶏肉を茹でるざるの改良に取り組み、竹の素材を使ったざるを考案したことを紹介しました。

これらの国際交流プログラムは、英語を学ぶものから使う道具へと認識を変える上で役立っており、学生たちの学習を促すきっかけとなっているようです。

第20回 こぶし会ゴルフ大会

風 尚樹さん(大学・土木・H元年)が初優勝 団体戦は大学・土木チームが勝利

第20回こぶし会ゴルフ大会は平成28年9月10日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部で開かれ、会員と学園関係者ら70人が参加し、ゴルフを通じて仲間との親睦を深めました。

ダブルベリア方式で行われたラウンドは、青空が広がる絶好のゴルフ日和となりました。参加者はナイスショットを放つ一方、思わぬ珍プレーに苦笑する場面

も。プレーの合間には、お互いの近況や学生時代の思い出話に花を咲かせ、ラウンド中は笑顔が絶えませんでした。

個人の部では、風尚樹さん(大学・土木・H元年)が初優勝を飾り、保二会、高専(各学科)、大学(各学科)、学園で競った団体の部では、大学・土木チームが制しました。



個人優勝した風 尚樹さん(右)
今回初めて大会に参加させてもらいました。優勝できたのは同僚者の皆さんのおかげで、運にも恵まれました。二連覇を目指して、来年以降もぜひ参加したいと思っています。



団体の部で優勝した大学・土木チーム(写真右から)
・下川 孝さん(H元年)
・風 尚樹さん(H元年)
・笹村 博史さん(48年)

成績

■ 団体

優勝 大学・土木チーム
第2位 高専・電気チーム
第3位 高専・機械チーム

■ ベストグロス

桜井 渉さん(大学・電気・48年)

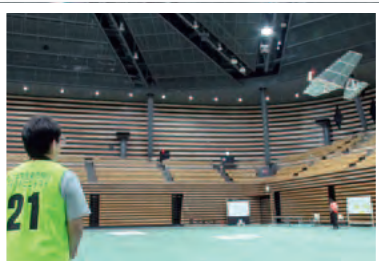
■ 個人 ネットの部

優勝 風 尚樹さん(大学・土木・H元年)
第2位 下川 孝さん(大学・土木・H元年)
第3位 宮下 郁平さん(高専・電気・47年)

全日本学生 室内コンテストで初優勝

小型無人飛行機プロジェクト

小型無人飛行機プロジェクトは平成28年8月26日から3日間、東京都の大田区総合体育館で開催された「第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」に参加し、自動操縦部門に出場した「狗鷲(イヌワシ)」で初優勝を果たしました。



優勝を果たした無人飛行機「狗鷲」

プロジェクトメンバーは、夏休み期間を利用して機体を製作し、飛行練習を繰り返してきました。メンバーの減少によって、一般部門は参加できず、自動操縦部門のみのエントリーにとどまり、リーダーの佐々木拳さん(航空システム工学科2年)が未経験ながらもパイロットを担当しました。このような厳しい状況の中で、メンバーそれぞれが役割をきっちりと果たすとともに、歴代パイロットのバックアップが大きき力となり、結束を強めました。

初日に機体審査を通過し、2日目は各部門の予選が行われ、狗鷲は10チーム中2位で予選を通過しました。

最終日の決勝で狗鷲は、各ミッションをクリアしていく中で、自動水平「八の字飛行」については断念したものの、操縦者の機転で自動着陸を手動着陸に切り替え、4分間の制限時間ギリギリの3分56秒で帰還しました。2位の日本大学に大差をつけ、大会12回目にして初優勝の栄冠をついに手にしました。

佐々木さんは「優勝できてうれしいです。今回目標としていたすべてのミッションクリアが達成できなくて残念でした。今後は目標達成にむけて頑張りたいです」と連覇に向けて意欲を見せていました。



プロジェクトメンバーの皆さん

学生通用口、 広場などが完成

金沢工業大学東校地

金沢工業大学東校地に、久安1丁目交差点近くから学内に入内りできる学生通用口と広場、やつかほりサーチキャンパスを往復するバスの進入路が完成しました。

完成式は平成28年9月28日に行われ、泉屋吉郎常務理事、神宮英夫副学長、向井守副校長らが出席し、泉屋



デッキやベンチでくつろぎの空間を演出

常務理事が「設計、施工に携わった皆さんに感謝したい」とお礼を述べました。

一連の施設の完成によって、通学、通勤の利便性が向上し、学生からも「朝の急ぐ時間帯にこの通用口を利用するのはうれしい」「夢考房に移動するのに便利だ」などの声が聞かれています。

広場には、扇が丘キャンパス開設以来、収集してきた石を使用。小川のせせらぎを表現した石河原のほか、巧みに石を配した石庭を思わせる場所もあります。幅6mのアプローチ通路は、



御影石をボーダー状に敷き詰めた石畳の通路が便利

24号館を経てライブラリーセンターへとつながっています。夜は、通路や樹木がライトアップされ、昼間とは違った趣を醸し出します。

樹木の名称を記した看板には、スマートフォンなどで読み取れるQRコードが付けられており、それぞれの木の特徴や育て方などの情報を得られます。

第64回工学教育研究講演会

日本工学教育協会の第64回工学教育研究講演会が平成28年9月5日から3日間、大阪大学吹田キャンパスで開催され、金沢工業大学の心理情報学科と経営情報学科の学生による地域商店活性化プロジェクトの活動成果を発表した「デザイン思考とマーケティング手法に基づく地域活性化」が発表賞を受賞しました。

この発表賞は、講演会で発表された280件の中から、座長・聴講者の投票をもとに講演会委員会による審議の上、6件に授与されるもので、学生の発表では唯一の受賞となりました。発表には心理情報学科3年の酒井悠至さん、前田大地さん、滝本健

太さん、岡崎雄也さんが携わりました。

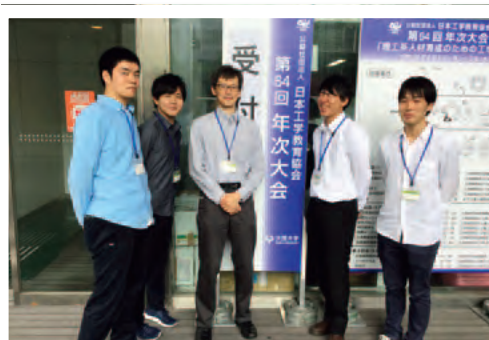
このプロジェクトには、①アンケート講習会②地域商店の調査コンサルティング活動—という2つの活動があります。

アンケート講習会では、プロジェクトに参加する学生が講師となり、地域の商店関係者にアンケートの作成・実施・集計・分析の方法を教えました。

さらに、地域商店の調査コンサルティング活動では、講習会を受講した各商店の要望に対して学生が個別に対応

し、経営改善を提案しました。

教育としての有用性・有効性、地域の活性化につながる取り組みとしてのユニークさが受賞に結びついたと言えます。



取り組みが評価されたプロジェクトメンバー

経済産業大臣賞を受賞

グローバル情報工学科の西野裕貴さん

第11回情報危機管理コンテストが平成28年5月19日から3日間、和歌山県立情報交流センターで開催され、西野裕貴さん（グローバル情報工学科4年）が参加した福井大学院生、沖縄高専生との混合チーム「fukuitech」が優勝し、経済産業大臣賞を受賞しました。

情報危機管理コンテストは、情報セキュリティに関わるインシデント（情報管理やシステム運用に関して保安上の



混合チームで競技に挑みました

脅威となる事象）にリアルタイムに対応し、その解決力を競う大会です。

4月に第1次予選、5月上旬までに第2次予選がインターネット上であり、決勝はfukuitechをはじめ、岡山大学、早稲田大学、関西大学、東京電機大学の5チームが会場に集まって争いました。

チームは顧客企業のサーバの管理者として、Webページやネットワーク、その他サービスの異変、外部からの苦情電話等への対応、サーバ設定の変更、インシデントの原因究明や復旧をリアルタイムで行います。インシデントを解決する技術力だけでなく、電話対応を含めた現場対応の適切さも考慮され、総合的な評価で勝者が決まります。

fukuitechは、顧客対応・連絡、報告、原因究明、復旧作業とチーム内で役割



経済産業大臣賞のトロフィーを持つ西野さん（中央）

分担を決めて臨み、西野さんは主に復旧作業を担当して技術面でチームを支えました。最終的に提出した報告書が優勝の決め手となり、役割分担でそれぞれがきちんと仕事をやり遂げるといチームの戦略が見事に的中しました。

情報セキュリティ関連のコンテストに出場したのは初めてという西野さんは「単に技術を競うだけでなく、顧客への対応や報告書の作成など、現実の企業で起こりうるトラブルを想定したシミュレーションを体験できた点がおもしろかった」と話しており、西野さんの今後の活躍が期待されます。

委員会に Focus VOL.1

6万9000人を超える会員数を誇るこぶし会を支えているのが各委員会のメンバーです。平成28年度からメンバーが一新された各委員会を2回に分けてご紹介します。

企画運営委員会

会員が参加しやすい楽しいイベントを



企画運営委員会は、毎年恒例となった「こぶし祭」やゴルフ大会、サマーセッション in 穴水といった各イベントを陰ながら支える裏方として、企画立案から運営までを行っています。主に、体育系（ゴルフ大会の運営など）と文化系（こぶし祭の運営など）の2班に分かれます。

こぶし会最大のイベントである「こぶし祭」では、「こぶし祭実行委員会」を組織し、事前に会合を開いて、こぶし庵で実施するイベント企画の内容を



検討したり、大抽選会の景品を決定したりします。また、当日の人員の配置やステージ企画の出演依頼、会場のレイアウトにいたるまで、話し合いは細部に及びます。今年も4日間にわたったこぶし祭は無事に開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。

企画運営委員会では、これからも会員が参加しやすく、楽しんでもらえるイベントを開催できるよう、知恵を絞っていきます。



●企画運営委員会の皆さん

担当副会長 殿村 和也（大学・土木・57年）
委員長 高木 由次（大学・経営・50年）
副委員長 中野 忠史（保二会・38年）
委員 9名



●第16回こぶし祭実行委員会の皆さん

会報委員会

学園、同窓会、会員をつなぐ『会報こぶし』



会報委員会は、年2回（1月・7月）発行している『会報こぶし』の編集作業に当たっています。この同窓会報は、学園、同窓会、会員の皆さんをつなぐ、唯一の冊子です。

編集委員会では、「特集は何を取り上げるのか」「新企画は何がいいのか」「誌面構成はどうするのか」といったことを決めていきます。例えば、今回の59号ならば、こぶし祭やサマーセッション in 穴水、支部総会など7～11月の学園や同窓会の行事や出来事を誌面で



紹介するほか、特集として課外活動や白山キャンパスを掲載することを決定し、誌面づくりを行いました。

また、『会報こぶし』は前回の58号から誌面をリニューアルしています。長年各地の祭りを紹介していた表紙を刷新したほか、写真を認識すると動画が流れるAR（拡張現実）を採用するなど、内容がマンネリ化しないよう常に新しい企画を考え、会員の方に読んでもらえる誌面づくりに取り組んでいます。



●会報委員会の皆さん

担当副会長 竹嶋 茂孝（保二会・40年）
委員長 西谷 隆司（高専・電気・53年）
副委員長 藤井 弘史（大学・電子・56年）
委員 10名

みんなに愛される楽しいイベント

懐かしい仲間に
会えるかも☆

楽しいから
会場に
立ち寄ってね!



家族一緒に来て
くださいね◇

全国の特産品が
あるよ♪

第16回 こぶし祭



こぶし祭の動画が
見られます

会員の集合写真をアプリで読み
取ってください。使い方はP22へ

卒業生はもちろん、在学生や地域の方々に
愛されてきた「こぶし祭」。
今年は10月15日、16日、29日、30日の
4日間開催され、全国の支部から
自慢の特産品を集めた「こぶし屋」をはじめ、
豪華賞品がそろった大抽選会、
笑いと拍手に包まれた
ステージ企画などが人気で、
例年以上の出で賑わいました。

こぶし屋

商品売り切れの
大にぎわい

その土地でしか味わえ
ない全国名産品がずら
りと並んだ「こぶし屋」。
商品が飛ぶように売れ
ていき、次々と完売の
札が下がりました。

こぶし庵

コーヒーで
ちょっとひと休み

県内各地の名水でいれたコーヒーを来場者に無
料でサービス。優しい味わいのコーヒーでほっ
としてもらえる安らぎの空間を提供しました。



売切御免



全国から
支部の皆さんが
駆けつけました♪

いつも遠方からの
熱い支援が
心強いです！



愛知支部



新潟支部



沖縄支部



栃木支部



青森支部



青森支部



岩手支部



福島支部



秋田支部



手作り コーナー

親子で工作に チャレンジ

手作りコーナーでは、薄い発泡スチロールで作るエアサーフグライダーのほか、木の板に自分の名前などを書くドアネームプレートづくりに親子で取り組みました。



落語会

立ち見が出るほどの大盛況！

林家木りんさん(左下)が演目『動物園』を披露。林家木久扇師匠(左上)は笑点メンバーの裏話や林家正蔵師匠とのエピソードなどを話し、軽妙な話術で満員の来場者を大いに沸かせました。



こぶし祭大抽選会ご賞当選者

今回も豪華賞品のオンパレード！ 幸運を引き寄せて当選された皆さん、本当におめでとうございます。

10/15
土



Play Station VR

嶋田 喜一郎さん(高専・電気・45年)

10/16
日



和倉温泉「加賀屋」 または「USJ」ご招待

小原 進一さん(学園関係者)

10/29
土



タブレット型パソコン

中屋 真悟さん(大学・環境・H11年)

10/30
日



電動アシスト自転車

加藤 敬さん(大学・電子・H10年)

昨年、30年ぶりに石川県に帰ってきました。初めて来たこぶし祭でまさか当たるとは思いませんでしたが、少し早いクリスマスプレゼントをもらったようです。

毎年、こぶし祭には参加していますが、大抽選会で当たったのは初めてです。加賀屋には一度泊まってみたく思っていたのでうれしいですね。

自分専用のパソコンが欲しかったのでちょうど良かったです。「こ賞」が当たったのは初めてなので、この幸運を生かしていきたいです。

工大祭写真展に差し入れた際に購入したチケットで当選しました。当選したのは初めてです。誰が使うか、家族の中で話し合います。



子供に
人気！

キッズコーナー

10月29、30日の大抽選会では、最初にキッズコーナーの抽選会が行われました。両日とも10人の子供たちがおもちゃを手にし、笑顔があふれました。





道東支部



高知支部



愛媛支部



札幌支部



群馬支部



静岡支部



三重支部



和歌山支部



福井支部



鳥取支部



島根支部



滋賀支部



100Km 歩行応援隊

学生をめった汁で激励!

10月30日未明、工大祭恒例100Km歩行の休憩地点である「アクロス高松」に、今年も「こぶし会100Km歩行応援隊」が駆けつけ、熱々のめった汁と栄養ドリンクで参加学生を激励しました。



ステージ企画

チアと演奏で盛り上げる

野々市明倫高校吹奏楽部(上)57人が「インディゴクラウド」など6曲。北國新聞文化センター「リトルウイングス」(下)60人がかわいいたチアダンスを披露しました。



金沢高専ホームカミングデー

卒業生が母校を訪問

高専祭に併せて金沢高専では、卒業生を母校に招く「ホームカミングデー」を開催しました。当日は、卒業生が次々と会場を訪れ、久しぶりに顔を合わせた仲間と卒業アルバムを見ながら、思い出話に花を咲かせました。今回は、卒業生にノートなどのキャンパスグッズをプレゼントしました。

山岸一路(電気・43年)さんは「自宅で卒業アルバムを見ることはないので懐かしかった」と話し、小松隼さん、坂貴吉さん、古永浩太郎さん、廣瀬貴史さん(いずれも電気・H27年)は「後輩たちが頑張っている姿を見られてうれしい」と笑顔を見せました。

<お楽しみ抽選会当選者発表!>

クイズの答え: 大澤 敏

全国の会員が参加できる「お楽しみ抽選会」。クイズの正解者の中から抽選で「こ賞」などの当選者が10月29日に決まりました。おもな当選者は次の皆さんです。当選された皆さんに賞品を送りました。

こ賞: ミラーレス一眼カメラ
原田 一男さん(愛知県)

ぶ賞: 加湿空気清浄器
大野 隆範さん(岐阜県)

し賞: ナノイードライヤー
内井 啓之さん(富山県)

●実行委員長あいさつ

こぶし祭実行委員長

中川 務さん(保二会・41年)



今回のこぶし祭も、皆さんの力が一つとなって素晴らしいイベントになったと思います。そこかしこで卒業生たちが談笑する姿が見られたのはほほえましいものでした。こぶし祭は会員の絆を深める絶好の機会であり、ますます発展していくことを願っています。最後に全国の支部をはじめとしたこぶし会会員のご協力に感謝申し上げます。

金沢工大学園は平成27年10月、旧「かんぼの郷 白山尾口」（石川県白山市瀬戸）を白山市から取得し、平成30年4月の開設を目指して「白山キャンパス」の整備を進めています。金沢工業高等専門学校1、2年生のための全寮制教育をはじめ、地域・企業とともに取り組む里山再生事業など、学園の新たな未来を拓く一大プロジェクトが始動しています。



平成30年4月、白山

金沢高専校舎棟&学生寮

全寮制キャンパスを新築 白山麓が学びのフィールド

白山キャンパスの中核をなすのが金沢工業高等専門学校（以下、金沢高専）の1、2年生が学ぶ新校舎と学生寮です。金沢高専では平成30年度からカリキュラムを一新し、1、2年生は全寮制の白山キャンパス、3年生はニュージーランドのオタゴ・ポリテクニク、4、5年生は扇が丘キャンパスと、3校地に分かれて学びます。定員は現在の1学年120名から90名に減らし、少人数制を徹底。学生は白山麓全体を学びのフィールドとし、地域や自然をテーマに課題を発見し解決法を探るプロジェクト型の学習に取り組み、イノベーションを生む力を磨きます。

教員の半数を外国人に 授業の大半は英語で実施

白山キャンパスでは、教員の半数が外国人となり、数理工科目をはじめ授業の大半を英語で実施します。全員がニュージーランドに留学する3年次、帰国後の4、5年次は、ほぼすべての授業が英語。帰国子女や外国人留学生など海外からも学生を積極的に受け入れます。

金沢高専の5年間を終えた後は、金沢工業大学3年次に編入学し、さらに大学院へ進んで専門分野をより深めることができます。9年一貫の学びによって、高度な工学知識と技術、多様な人々と協働する力を身につけ、グローバル社会でイノベーションをリードする人材「Leaders of Global Innovation」を育て上げていきます。

5(高専)+4(大学・大学院)の一貫教育プログラム

金沢高専					金沢工大		金沢工大大学院	
1年	2年	3年	4年	5年	3年	4年	1年	2年
白山キャンパス		NZ留学		扇が丘キャンパス			やつかほリサーチキャンパス	



金沢高専は「国際高等専門学校」に 3学科を「国際理工学科」に統合(構想中)

白山キャンパス開設に合わせ、金沢高専は「国際高等専門学校（英語名：Kanazawa International College of Technology、略称：KICT）」に名称を変更します。キャンパスが白山市、金沢市、ニュージーランドの3校地に分かれ、国内だけでなく世界から学生が集まることを視野に、日本で最もグローバルな高専であるという自負を表明了。

また、現在の電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科は「国際理工学科」に統合され、3年次に電気電子、機械工学、情報フロンティア、応用化学の4コースから選択する専門コース制となります。

※ 計画中の内容であり、変更になる場合があります。

イノベーションを創出する 新たな教育・研究の拠点

キャンパスを開設へ



①新校舎内の共有スペース「リビングcommons」。自習やおしゃべりをして自由にくつろげます ②個々の寝室とリビングやバスルームを共有する6人で1ユニットの学生寮。1、2年生が共同生活を送ります ③左上がKITイノベーションハブ(仮称)。中央のカーブを描いた建物が高専新校舎。右手前が体育館で、右奥が学生寮 ④アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界各国から採用した教員が、英語だけでなく工学、数理科目も指導します ⑤イノベーターに必須となるアイデアを形にするデザイン思考を磨きます

里山再生支援事業

白山麓の新たな価値を生む 「里山都市」の形成へ

白山麓といった里山には、森林の荒廃や人口減少、生態系の破壊といったさまざまな課題があります。

白山キャンパスでは、周辺地域を「里山都市」と位置づけ、産業界、自治体、学園が連携して、持続可能な新しい地方都市を形成することでこの課題に当たります。太陽光、小水力、バイオマス、地熱などを利用した発電、災害時の電力を確保する蓄電池など新エネルギー開発をはじめ、地域防災、教育、福祉、医療といったさまざまな分野で実証実験に取り組み、里山都市としての白山麓の新たな価値の創出に挑みます。

KITイノベーションハブ(仮称)

地域社会や 企業との協働に活用

白山キャンパスでは白山麓を舞台に、地域や産業界と連携してさまざまなプロジェクトに取り組む計画で、その拠点となる教育研究・研修棟「KITイノベーションハブ(仮称)」は既存の建物を改修して整備しています。卒業生はもちろん、地域や企業の方も利用できるものとし、講演会やセミナー、カンファレンスなど目的に応じて利用できるさまざまな施設や、アイデアを形にするためのものづくりができるワークスペースなどを備え、イノベーションを生むプロジェクト活動をサポートします。



平成28年9月には改修中の施設で「子供たちが豊かに成長する次世代の里山都市の創造」をテーマに、金沢工大の学生らが、白山麓が持つ魅力を引き出すゲームやサービスを試作、提案しました

アイデアを即座に形に！ イノベーションを生むラボ

ラボには、3Dプリンターやレーザーカッターなどのデジタル加工機、デジタルコンテンツ制作装置、遺伝子解析装置など、最先端のツールを整備した工房スペースの設置を計画しています。イノベーションハブのメンバーである学生、企業、地域の方々がさまざまなイノベーションに取り組む拠点となります。



3Dプリンターやレーザーカッターで学生が作った作品

地域の人々との交流の場に 温泉施設をオープン予定

白山キャンパスに隣接して、温泉施設がオープンします。雄大な山並みを望む癒しの湯として、地域の方々にも楽しんでいただけるものとなる予定です。こぶし会会員の方もぜひご利用ください。



近畿地区支部長会議

役員増加で連携強め

平成28年度近畿地区支部長会議が9月24日、滋賀県彦根市の彦根グランドデュークホテルで開かれ、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山の支部長ら9名が出席しました。会議では各支部が活動を報告し、京都支部は「支部総会に参加する人の増加を狙い、1週間前にゴルフコンペを開いている」、奈良支部は「平成29年度の工大祭に併せて『金沢を見学する会』のツアーを予定している」といった意見が聞かれました。また、滋賀支部では、「支部の役員を増やして、その方からのつながりで参加者を募ってはどうか」という提案もありました。



東北・北海道地区支部長会議

コメントで返信率がアップ

平成28年度東北・北海道地区支部長会議が7月24日、北海道旭川市の旭川グランドホテルで開かれ、道東、札幌、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の支部代表者ら22名が出席しました。会議では、岩手支部が「総会を開くのが目的ではなく、相互連携していくことが大切だ」との意見があったほか、秋田支部が「支部総会の案内はがきにコメントを入れるようになったら返信率が上がった」という報告がありました。出席者の共通認識として、支部を活性化していくには地道に参加を呼び掛けていくしかないことを互いに確認しました。



東海地区支部長会議

新たな人材の発掘を

平成28年度東海地区支部長会議が9月17日に岐阜県岐阜市のじゅうろくプラザで開かれ、岐阜、静岡、愛知、三重の支部代表者ら10名が出席し、支部ごとに活動状況を報告しました。静岡支部からは「平成30年度全国支部代表者会議に向けて新たな人材を発掘したい」との発言がありました。三重支部は「支部長をはじめ、執行部を刷新したのを機に活動を活性化させたい」、岐阜支部は「高山会場は大いに盛り上がるので、その熱気を岐阜会場にも伝えていきたい」と話し、支部に活気をもたらすには、一歩ずつ着実に進むことの大切さを確認しました。



お知らせ

沖縄支部総会

平成29年1月28日(土) 19:00～
サザンプラザ海邦
沖縄県那覇市旭町7

5月

- 高知支部
28日(土) 18:30～
三翠園 / 出席14名

6月

- 大分支部
3日(金) 19:00～
寿司ろばた八條 中央町店 / 出席6名



- 宮崎支部
3日(金) 19:00～
えんにち田舎家 / 出席10名

- 道東支部
4日(土) 18:30～
オホーツクピアファクトリー / 出席8名

- 札幌支部
4日(土) 18:30～
札幌ジャスマックプラザ / 出席34名



総会案内のはがきの返信率が昨年の32%から今年は51.8%と大幅にアップし、菅原吉孝支部長の手書きのコメントが着実に効果を上げています。総会には初参加者16名を含む34名が出席し、大いに盛り上がりしました。

- 群馬支部
4日(土) 18:00～
高崎ワシントンホテルプラザ 銀座 / 出席8名



- 徳島支部
17日(金) 19:30～
居酒屋 とくさん / 出席11名

- 新潟支部
18日(土) 18:00～
松風園 / 出席14名



- 長野支部
18日(土) 19:00～
ホテル国際21 / 出席9名

- 奈良支部
18日(土) 19:00～
奈良ロイヤルホテル 竹の家 / 出席11名



- 和歌山支部
18日(土) 18:00～
ホテルアパローム紀の国 割烹「六つ葵」 / 出席18名

若手の会員の参加者が少ない現状を打破するために、学園から教員を招いて科学技術に関する研究の講演を行ってもらい、総会と連動させてはどうかという意見が出されました。

- 香川支部
18日(土) 19:00～
神童ろ / 出席8名



- 山梨支部
25日(土) 18:30～
甲府富士屋ホテル / 出席13名

- 静岡支部(静岡)
25日(土) 19:00～
酒菜屋「大鉢小鉢」呉服町店 / 出席21名

- 静岡支部(浜松)
25日(土) 19:00～
ローランジャンツウ / 出席13名

- 愛知支部(名古屋)
25日(土) 19:00～
名古屋 百楽 / 出席20名

- 岡山支部
25日(土) 19:00～
サン・ピーチOKAYAMA / 出席19名

石川憲一名誉学長が初めて出席し、過去最高の参加数となりました。石川名誉学長は学園の過去から現在、未来までを語り、参加者一人一人と意見を交わしました。また、平川忠さんが世界に認められた「土窯」を完成させるまでの話に興味津々でした。

平成28年度こぶし会支部総会が全国各地で開催されました。

● **広島支部**
25日(土) 19:00～
ホテルセンチュリー21広島／出席10名

● **山口支部**
25日(土) 19:00～
鹿鳴館／出席6名

7月

● **関東こぶし会(埼玉、千葉、東京、神奈川の4支部)**
8日(金) 18:00～
金沢工業大学東京事務所／出席70名

● **岩手支部**
9日(土) 19:00～
うし亭／出席13名



東日本大震災から5年が経ち、あらためて当日の惨状を振り返り、復興の難しさを再認識しました。また、参加できなかった会員に総会の様子を報告することで、つながりを生み出すと考えています。

● **福島支部**
9日(土) 18:30～
会津若松ワシントンホテル／出席12名



● **栃木支部**
9日(土) 18:00～
海鮮旬菜 漁石／出席9名

● **福井支部**
9日(土) 15:00～
そば打ち体験=みやま長寿そば道場ごっつおさん亭
総会・懇親会=福井市美山森林温泉みらくる亭／出席11名



● **岐阜支部(岐阜)**
9日(土) 18:30～
季づな 宇を徳／出席19名

● **三重支部**
9日(土) 19:00～
四日市都ホテル／出席14名

総会で役員改選が行われ、新支部長に森田泰さん、副支部長に渡邊味さんと甲斐靖則さんをそれぞれ選びました。懇親会は、終始和やかに行われ、笑顔の絶えない楽しい会となりました。

● **鳥取支部**
9日(土) 19:00～
魚キング／出席16名



● **島根支部**
9日(土) 19:00～
茜どき 松江駅前店／出席11名

● **熊本支部**
9日(土) 18:00～
喰one家 ぴーすふる／出席4名



● **鹿児島支部**
9日(土) 19:00～
魚将 さかなちゃん／出席4名

● **茨城支部**
16日(土) 18:00～
水戸京成ホテル 景山／出席8名



● **岐阜支部(高山)**
16日(土) 18:30～
焼肉ろくべえ／出席11名

● **京都支部(京都)**
17日(日) 18:30～
がんこ 高瀬川二条苑／出席12名



● **愛媛支部**
23日(土) 18:30～
ホテルサンルート松山／出席17名

● **佐賀・長崎支部**
23日(土) 18:30～
割烹 雅／出席6名

● **京都支部(舞鶴)**
30日(土) 18:00～
九州酒場 あじと／出席10名

8月

● **愛知支部(豊橋)**
6日(土) 18:00～
ボレロ吾妻家／出席18名

今年から豊橋市でも総会を開催することになりました。実現まで5年かかったこともあり、出席者は学生時代の懐かしい思い出話を花を咲かせました。来年以降も豊橋市で総会を開催する予定です。

● **秋田支部**
19日(金) 18:30～
うみひこ駅前本店／出席14名



● **青森支部**
20日(土) 18:30～
酒肴旬 三ツ石／出席21名

● **福岡支部**
20日(土) 18:00～
北前そば高田屋 博多筑紫口店／出席6名

9月

● **高岡支部**
11日(日) 講演会 17:00～18:20、支部総会及び親睦会 18:40～20:30
ホテルニューオータニ高岡／出席11名

● **滋賀支部**
24日(土) 18:30～
グランデュークホテル／出席6名

10月

● **富山支部**
22日(土) 講演会 18:00～、総会 18:30～
富山地鉄ホテル アルシェフ／出席24名



11月

● **山形支部**
12日(土) 19:00～
代官山一柳亭／出席7名

● **大阪・兵庫支部**
12日(土) 18:00～
活き意気 西梅田店／出席16名

● **宮城支部**
19日(土) 18:30～
郷土料理 心平／出席11名

新支部長紹介

新しく支部長に就任された方をご紹介します。
支部のけん引役として今後の活躍が期待されます。



三重支部
森田 泰さん
(大学・情報・49年)



兵庫支部
黒瀬 将一さん
(大学・機械システム・H2年)



全国一斉ボウリング大会

第22回

今年で22回目となった全国一斉ボウリング大会が平成28年11月5日から13日にかけて各地で開催されました。

窪田和浩さんが優勝!

こぶし会の今年度最後の行事となった全国一斉ボウリング大会。全国35支部36会場で会員229人、家族131人が参加し、熱投を繰り上げました。会員の部では、窪田和浩さん(金沢会場・高専・電気・H6年)が428点、家族の部では酒本慎二さんが(金沢会場)が333点で、それぞれ優勝の栄冠を手にしました。



※スコアは2ゲームのトータルです。

成績

●会員の部

- 優勝 428点 金沢会場 窪田和浩さん(高専・電気・H6年)
- 2位 389点 上越会場 竹内修さん(大学・土木・50年)
- 3位 374点 金沢会場 岡本勉さん(高専・電気・43年)
- 4位 361点 静岡会場 黒柳正巳さん(大学・電気・56年)
- 5位 350点 青森会場 斉藤修一さん(大学・建築・57年)

●家族の部

- 優勝 333点 金沢会場 酒本慎二さん
- 2位 326点 能登会場 山崎稔晃さん
- 3位 323点 いわき会場 坂本操さん



部活動応援サイト



在学生の部活動を 応援してみませんか?

こぶし会では、在学生の部活動の情報を得たり、卒業生と在学生が交流したりする場を提供するホームページ「いいね! 部活動なう。」を開設しています。ホームページでは、金沢工業大学と金沢工業高等専門学校(高専)の体育系40団体と文化系18団体の活動を紹介しています。公式フェ

イスブックを通じて双方向のコミュニケーションを取ることでも可能で、在校生の部活動を卒業生がさまざまな面から応援できるサイトです。

●金沢工科大学 部活動応援サイト

いいね! 部活動なう。



こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**69,262人の会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている未納入の方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。訂正等ございましたらインフォメーションカードにご記入のうえご返送ください。

対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会(平成29年3月末日で40歳以上の会員)
- 大学同窓会(平成29年3月末日で40歳以上の会員)

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。
*平成25年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、平成28年3月に期限が切れております。振込用紙を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

『会報こぶし』は、懐かしい学園の香りをお届けできる唯一の情報誌です。

こぶし会事務局

【金沢工業大学内】〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.http://www.kobushi.jp



QRコードでホームページをチェック!